



JCSS

種別 品質管理
認可番号 125-02707

校正証明書

依頼者	フタバ工業株式会社
住所	宮城県つるぎ町東2-1
品名	ステンレスボールメーター
型式	KA-2
製造番号	0044014 (マイクログラフ S1483)
管理番号	CS-000
製造者	フタバ株式会社
校正項目	自由回転ステンボール
校正方法	JIS S 509-2 2.10.1.1に規定する試験方法に準拠した校正
校正条件	常温(20℃)と静電
校正場所	東京都八王子市南大沢町丁1-4番地 一般財団法人 日本品質保証機構 計量計測センター 計測検査課校正室
校正年月日	2019年9月11日

校正結果は次頁以降のとおりであることを証明します。

2019年9月11日

東京都八王子市南大沢町丁1-4番地
一般財団法人 日本品質保証機構
計量計測センター

所長 片桐 拓哉



この証明書は、計量法第15条第4項に基づき発行されるものであり、計量標準法(国家標準)による同一サイズ及び
標準値により校正した結果を示すものです。

誤差による承認を以て、この証明書のメーターは、及び一部分のみを複製して使用することをお断りします。
当センターは、JQA/JQC JIS 9001-2015に基づき校正機関として認定されています。

校正結果

自由音場レベルシールド

周波数 (Hz)	偏置 (dB)	校正の不確かさ (F=7) (dB)
100	-0.2	0.8
630	-0.1	0.8
800	-0.2	0.8
1000	-0.2	0.8
1250	-0.1	0.9
1600	-0.2	0.8

上記、自由音場レベルシールドの偏置(偏置)は、マイクは前シに基準方向で入射する平面波が原因による自由音場のモードの偏置値と、サウンドレベルメータが計測したときの偏置値を付けた定価レベルとの差である。

校正の不確かさは、周波数1000Hzとした標準不確かさであり、約95%の信頼の水準を持つと推定される区間を与える。

1. 校正条件

音の入射方向 : 基準方向
 校正音圧レベル : 75.0 dB

2. サウンドレベルメータの設定

周波数重み付け特性 : A
 タイム常態 : 50 - 1000 Hz
 自己校正機能(ALC) : 94.0 dB

3. 校正に使用した標準器等

(品名)	(型式)	(製造番号)	(製造者)
標準マイクは前シ	4188	2765425	Brüel & Kjær
MULTIMETER	2801	0595649	METTLER
15 MHz MULTIFUNCTION SYNTHESIZER	WF1945B	9071646	RF Corporation
PROGRAMMABLE ATTENUATOR	TPA-301A	1E434	TAMAGAWA ELECTRONICS CO., LTD.
PROGRAMMABLE ATTENUATOR	TPA-301A	2B418	TAMAGAWA ELECTRONICS CO., LTD.

4. 校正結果は、下記校正時の環境条件における値である。
 温度 23 °C、湿度 70 %、気圧 993.4 Pa

耐帯性能事項

概要

校正 管理レベル	レベルレンジ (dB)	標準 (dB)	校正の不確かさ (A+B) (dB)
75B	94-100	-0.2	0.4

標準は、周波数500 Hz、600 Hz、800 Hz、1000 Hz、1250 Hz及び1600 Hzの
自由音場のレベルである。（周波数差み付け特性A）の平均である。

校正の不確かさ

校正の不確かさは、校正係数 k による拡張不確かさであり、約5%の
信頼水準を有する。注記事項を参照する。

備考

1. 耐帯性能事項は、計測結果100%に適用し、拡張不確かさの範囲に含まない。

特記事項

校正品の使用後、内部電気回路による調整をした以外に、修正及び調整を打わず
校正を実施した。